2004 年 4 月～2026年 3 月に本院の矯正歯科で歯科用 CB-CT 画像を撮影した方へ

研究 徳島大学病院矯正歯科を受診した患者の歯科用 CB-CT 画像を用いた永久歯の骨性癒着歯の診断法の検討の実施について

1. 本研究の目的および方法

骨性癒着によって動かない歯は亜脱臼をさせて移動を試みたり、それでも動かない場合には抜歯となります。そのため、矯正治療期間の長期化を招いたり、治療計画の変更を余儀なくされることがあります。このようなことは、矯正治療開始前の検査時に、骨性癒着によって亜脱臼をさせても動かない歯であるとの予測がつけば回避することができます。しかし骨性癒着の治療予測や、その診断基準は未だ確立されていません。本研究の目的は、矯正治療前に骨性癒着の有無や治療経過・予後が推定できるか否かを評価することです。

2004 年 4 月～2026 年 3 月に本院の矯正歯科で歯科用 CB-CT 画像を撮影した方が研究対象者です。

歯科用 CB-CT 画像とパノラマエックス線画像等を用いエックス線学的に、骨性癒着の有無や治療経過・予後を評価することです。

研究全体の実施期間は 2019 年 7 月～2026年 3 月までです。予定症例数は 100 例です。

本研究は、倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

歯科用 CB-CT 画像、パノラマエックス線画像などのエックス線画像とカルテから得られる治療経過に関する情報など収集した情報が含まれる電子媒体は、徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学分野教授室の施錠可能なロッカーに徳島大学病院矯正歯科科長の田中栄二教授を保管責任者として保管します。収集した情報は、研究終了後５年間保管し、保管期間終了後は完全にデータを廃棄し、本研究以外には使用しません。

3. 研究結果の公表について

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。

4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は，講座の研究費のみを使用して実施されます。

本研究の利害関係については，臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け，承認を得ております。

5. 本研究への参加に同意しない場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】 徳島大学病院 矯正歯科

【研究責任者】徳島大学病院 矯正歯科 ・ 講師 ・ 堀内信也

徳島大学病院 矯正歯科 ・ 研究生 ・ 和田史子

徳島大学病院 矯正歯科 ・ 助教 ・ 日浅雅博

徳島大学 歯科放射線科 ・ 診療許可医 ・ 誉田栄一

徳島大学 歯科放射線科 ・ 准教授 ・ 細木秀彦

徳島大学病院 矯正歯科 ・ 教授 ・ 田中栄二

【連絡先】

徳島大学病院 矯正歯科 ・ 講師 ・ 堀内信也

徳島大学病院 矯正歯科 ・ 研究生 ・ 和田史子

☎ 088-633-7357

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。